

## 部落解放研究関係文献目録

(一九八五年四月～六月)

## 【現状】

- 部落解放高槻市富田園芸協同組合10周年記念誌編集委員会編『百樹のあゆみ』(同上、4月)  
 部落解放同盟京都府連合会編『京都府部落解放実態調査報告書』(同上、4月)  
 日野範之「婦人の仕事を見る―広島部落で(下)」  
 『部落解放』二二〇号、5月)  
 奈良県編「婦人の生活実情調査結果報告書」(B調査)1984年(同上、5月)  
 東京都産業労働会館編「事業概要」(同上、5月)  
 本誌編集部「新潟の被差別部落から」  
 『部落解放』二二二号、6月)  
 (資料)「『神林・裁判闘争を支援する会』結成／新潟県同教養会」(同右)  
 本誌編集部「グラビア・新潟の被差別部落から」(同右)  
 日野謙一「実態調査とその成果の意味―三木調査を終えて(7)」  
 『ひょうご部落解放』一九号、6月)

石元清英「八兵庫の農村部落(3)」一九八四年部落実態調査報告(同右)

北川鉄夫「へぶらく西・東」環境改善は進んだ―神奈川県秦野市(『国民融合通信』一三二号、6月)

東京都産業労働会館業務課編「かわとはきものNo.52」(同上、6月)

三輪嘉男・平松道夫「類型別にみた部落の住宅と老人のくらし―大阪部落実態調査を中心に」(『同和問題研究』大阪府立大学同和問題研究会紀要)八号、1985年3月)

山名伸作「山口県と鹿児島県の同和地区現地研修記」(同右)

## 【行政】

- 瀬川貞太郎「北九州市同和行政の現状と課題」  
 (『部落問題研究』八三号、4月)  
 杉之原寿一「同和行政の動向と課題」(同右)  
 割石忠典「広島県同和行政史覚え書(1)―部落対策協議会について」(『部落解放ひろしき』二二号、5月)  
 磯村英一「地对協具申後の課題と展望」

(『部落解放』二二二号、6月)

山本登「『部落差別』に関する身元調査をなくする方策」について」(同右)

山下等「(動向)〈行政〉京都市をめぐる新たな動き」

(『部落』四五八号、6月)

京都市会編「各市における同和对策事業の概要」(環境改善委員会資料) (同上、1984年3月)

大阪法務局・大阪府人権擁護委員連合会編「人権擁護事務の概況 昭和59年」(同上、1984年12月)

横井隣保館編「横井隣保館開館10年記念誌」

(同上、1985年2月)

大阪鉄道郵便局編『あゆみ 同和問題の解決に向けて』(同上、1985年3月)

大阪府企画部同和对策室編「大阪府同和对策事業・昭和六〇年度」(同上、1985年)

滋賀県農協同和对策本部編「農協同和对策事業概要」(同上、1985年)

## 【運動】

『部落解放同盟第42回全国大会報告集』

(『部落解放』二二九号、4月)

師岡佑行「もっと論議を―現代法と部落解放基本法・差別禁止法要綱案(承前)」「こべる」八八号、4月)

井上清「部落解放と法」(同右)

北口末広「『人権条例』(仮称)制定の意義ととりくみ経過」

(『解放教育』一九二号、4月)

和島岩吉「部落差別身元調査等規制条例について」

(『社会啓発情報』二四号、4月)

(編集部)「『血痕検査』報告書横山議員が追及、存在について認める」国会法務委員会の記録」

(『狭山差別裁判』一三六号、4月)

村崎勝利「二十一世紀を展望した部落解放運動のあり方」

(『部落問題研究』八三号、4月)

奥山峰夫「(動向)〈行政〉大阪・興信所条例をめぐる動向―制定反対シンポ開く」(『部落』四五六号、4月)

村崎勝利「今年の部落解放運動の重点課題」

(『解放の道―理論・政策・資料版』一五号、4月)

栃崎博孝「21世紀をめざす部落解放の基本方向(案)の討議にあたって」(同右)

全国部落解放運動連合会「(資料)21世紀をめざす部落解放の基本方向(案)」(同右)

浅野弘樹「『興信所条例』の問題点と大阪府議会でのたたかい」

(『赤旗―評論特集版』四二二号、4月)

『特集』「家賃適正化のとりくみ」

(『月刊部落問題』一〇二号、4月)

全解連神戸市協議会「家賃の適正化をすすめる管理・住戸改善の前進を」

神戸市同和施策住宅家賃検討委員会「〈資料〉同和施策住宅

家賃の適正化に関する意見書」

瀬川貞太郎「分断固定化の適正化」

藤谷義兼「京都と神戸の家賃問題のとりくみから」

日向市職員部落解放研究会編『身元調査お断り あと断たぬ差別の悲劇』(同上、4月)

部落解放同盟岡山県連合会編『第37回定期大会』(同上、4月)

部落解放同盟埼玉県連合会編『第33回定期大会議案集』

(同上、4月)

解放新聞社長野支局編『部落解放同盟長野県連合会第38回定期大会討議資料』(同上、4月)

部落解放同盟京都府連合会編『第32回定期大会議案書』

(同上、4月)

部落解放同盟福岡県連合会編『第36回定期大会議案書』

(同上、4月)

部落解放同盟栃木県連合会編『第13回定期大会議案書』

(同上、4月)

部落解放同盟大分県連合会編『第13期第14回定期大会議案書』

(同上、4月)

部落解放同盟奈良県連合会編『第27回定期大会議案書』

(同上、4月)

解放新聞社大阪支局編『部落解放同盟大阪府連合会第32回定期大会議案書』(同上、4月)

大阪府同和事業促進協議会編『第34回定期総会議案書』

(同上、4月)

浅野弘樹「興信所条例制定をめぐって」(同右)

(同上、4月)

友永健三「『部落解放基本法』をめぐる論議について」

(『部落解放研究』四四号、5月)

荻田哲男「第七回研究会議・人権行政部門会議報告」(同右)

大阪府部落差別調査等規制条例の成立」

(『部落解放』二二〇号、5月)

友永健三「部落差別調査等規制条例」の制定と今後の課題」

掘部政男「プライバシー保護のあり方と大阪府部落差別事象調査等規制条例」

藤林晋一郎「興信所・探偵社に対する法的規制の史的変遷」

〈資料〉「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」

井上清「最近の歴史に学ぶ」(『こべる』八九号、5月)

〈特集〉「差別糾弾広島」

(『部落解放ひろしま』二二号、5月)

岡田英治「広島県内の差別事件の特徴とその闘い」

滝尾英二「広島県立図書館図書隠匿・破棄事件(1)―経過と事件の本質・問われたもの」

大串夏身「広島県立図書館図書隠匿・破棄事件(2)―差別・人権の視点から見た図書館」

部落解放同盟広島県連合会「(広島県立図書館図書隠匿・破棄事件・資料)『同和行政の実態』の差別性と、一般公開のべき放置しつづけた広島県と県教育行政の差別性を糾弾する」

(編集部)「『部落地名総鑑』購入企業その後」

周年をむかえて」

(資料)「兵庫県部落解放運動連合会十年のあゆみ」

(資料)「兵庫の部落解放運動年表」

亀田順一「『部落解放基本法』とその批判」(同右)

(資料)「これが差別でしようか―愛媛県同対協の『糺明』事件」

(『国民融合通信』一三二号、5月)

部落解放基本法制定要求国民運動中央実行委員会編『部落解放行政推進要求第2次政府交渉資料』(同上、5月)

部落解放日之出地区研究会実行委員会編『部落解放日之出地区研究集会報告書』(同上、5月)

部落解放同盟高浜支部編『第16回部落解放同盟高浜支部定期大会』(同上、5月)

解放新聞社兵庫支局編『部落解放同盟兵庫県連合会第26回大会討議資料』(同上、5月)

福島地区被爆者の会編『いのちあるかぎり 原爆と未解放部落』

〈市民学習シリーズ15〉(兵庫部落問題研究所、5月)

部落解放同盟中央本部編『部落解放基本法制定をめぐって』

(同上、5月)

部落解放子ども会大阪連絡協議会編『狭山・報道記事集(PAR T4)』(同上、5月)

大阪八鹿の真実を守る会編『「八鹿」から大阪へ』

(同上、5月)

部落解放同盟群馬県連編『第三九回定期大会議案書』

(同上、5月)

家賃の適正化に関する意見書」

瀬川貞太郎「分断固定化の適正化」

藤谷義兼「京都と神戸の家賃問題のとりくみから」

日向市職員部落解放研究会編『身元調査お断り あと断たぬ差別の悲劇』(同上、4月)

部落解放同盟岡山県連合会編『第37回定期大会』(同上、4月)

部落解放同盟埼玉県連合会編『第33回定期大会議案集』

(同上、4月)

解放新聞社長野支局編『部落解放同盟長野県連合会第38回定期大会討議資料』(同上、4月)

部落解放同盟京都府連合会編『第32回定期大会議案書』

(同上、4月)

部落解放同盟福岡県連合会編『第36回定期大会議案書』

(同上、4月)

部落解放同盟栃木県連合会編『第13回定期大会議案書』

(同上、4月)

部落解放同盟大分県連合会編『第13期第14回定期大会議案書』

(同上、4月)

部落解放同盟奈良県連合会編『第27回定期大会議案書』

(同上、4月)

解放新聞社大阪支局編『部落解放同盟大阪府連合会第32回定期大会議案書』(同上、4月)

大阪府同和事業促進協議会編『第34回定期総会議案書』

(同上、4月)

浅野弘樹「興信所条例制定をめぐって」(同右)

(同上、4月)

友永健三「『部落解放基本法』をめぐる論議について」

(『部落解放研究』四四号、5月)

荻田哲男「第七回研究会議・人権行政部門会議報告」(同右)

大阪府部落差別調査等規制条例の成立」

(『部落解放』二二〇号、5月)

友永健三「部落差別調査等規制条例」の制定と今後の課題」

掘部政男「プライバシー保護のあり方と大阪府部落差別事象調査等規制条例」

藤林晋一郎「興信所・探偵社に対する法的規制の史的変遷」

〈資料〉「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」

井上清「最近の歴史に学ぶ」(『こべる』八九号、5月)

〈特集〉「差別糾弾広島」

(『部落解放ひろしま』二二号、5月)

岡田英治「広島県内の差別事件の特徴とその闘い」

滝尾英二「広島県立図書館図書隠匿・破棄事件(1)―経過と事件の本質・問われたもの」

大串夏身「広島県立図書館図書隠匿・破棄事件(2)―差別・人権の視点から見た図書館」

部落解放同盟広島県連合会「(広島県立図書館図書隠匿・破棄事件・資料)『同和行政の実態』の差別性と、一般公開のべき放置しつづけた広島県と県教育行政の差別性を糾弾する」

(編集部)「『部落地名総鑑』購入企業その後」

周年をむかえて」

(資料)「兵庫県部落解放運動連合会十年のあゆみ」

(資料)「兵庫の部落解放運動年表」

亀田順一「『部落解放基本法』とその批判」(同右)

(資料)「これが差別でしようか―愛媛県同対協の『糺明』事件」

(『国民融合通信』一三二号、5月)

部落解放基本法制定要求国民運動中央実行委員会編『部落解放行政推進要求第2次政府交渉資料』(同上、5月)

部落解放日之出地区研究会実行委員会編『部落解放日之出地区研究集会報告書』(同上、5月)

部落解放同盟高浜支部編『第16回部落解放同盟高浜支部定期大会』(同上、5月)

解放新聞社兵庫支局編『部落解放同盟兵庫県連合会第26回大会討議資料』(同上、5月)

福島地区被爆者の会編『いのちあるかぎり 原爆と未解放部落』

〈市民学習シリーズ15〉(兵庫部落問題研究所、5月)

部落解放同盟中央本部編『部落解放基本法制定をめぐって』

(同上、5月)

部落解放子ども会大阪連絡協議会編『狭山・報道記事集(PAR T4)』(同上、5月)

大阪八鹿の真実を守る会編『「八鹿」から大阪へ』

(同上、5月)

部落解放同盟群馬県連編『第三九回定期大会議案書』

(同上、5月)

奥山峰夫「(動向)〈行政〉住民基本台帳法改正をめぐって」

(同右)

野間宏「〈狭山裁判一〉二二〇異議申立の棄却決定批判」(48)

(『世界』四七四号、5月)

〈特集〉「支部活動と住民の自立」

(『解放の道―理論・政策・資料版』一六号、5月)

天野洋邦「島根県における組織建設について」(同右)

〈全解連兵庫県連結成10周年〉

(『月刊部落問題』一〇二号、5月)

亀田順一・西脇忠之・前田武・島飼慶陽「〈座談会〉結成十

年をむかえて」

部落解放同盟大阪府連合会婦人部編『第十五回定期大会議案書』

(同上、5月)

《特集》「結婚差別—その現実と闘い」

(『部落解放』二二二号、6月)

部落解放同盟長野県連青年部「へ座談会」結婚差別との闘いのなかで」

辻 暉夫「愛は満たされた。されど…」

門田秀夫「結婚問題への取り組みと私」

森下淳子「私の結婚」

大崎カナエ「弟の結婚」

中山武敏「狭山担当調査官が転任—最高裁の決定は近い」

野本せつ・駒井豊美・大川恵美子ほか「へ部落解放全国婦人集会

第三〇回記念座談会」『全婦』のなかで育てられて」(同右)

解放同盟南但地協・闘争委員会「養父部職員田村六郎差別事件糾

弾闘争」(『ひょうご部落解放』十九号、6月)

井上 清「日本とドイツの権力者」(『こべる』九〇号、6月)

小森龍邦「部落解放同盟第四二回大会と基本法制定国民運動」

(『社会啓発情報』二五号、6月)

在間秀和「部落差別身元調査等規制条例の意義と内容」(同右)

大谷正明「部落解放同盟第42回全国大会報告—部落解放基本

法」闘争勝利へ」(『解放教育』一九四号、6月)

岡田雅一「(現地報告)『部落実態調査』の名による『解同』奈

良県連の人権侵害」(『部落』四五八号、6月)

《特集》「不当決定に怒り出す」

(『狭山差別裁判』一三八号、6月)

部落解放同盟中央本部「抗議声明」

《再審の勝利をめざして—不当逮捕二十二年》

小森龍邦「へ基調報告」狭山の真相を全国民へ」

免田 栄「へ特別アピール」司法界のカベ打ち破り」

石川一雄「へ石川さんのアピール」勝利の日までたたかいて

く

(資料)「へ連載6」105の新証拠(足跡その2)」(同右)

本田 豊「へ連載12」えん罪—狭山事件前史—11警察制度変せん

史(7)」(同右)

鎌元昌弘「へ連載6」狭山事件・報道と分析—第1次逮捕の違法

性(2)」(同右)

山中多美男「部落解放基本法』はなぜ必要か」

(『月刊社会党』三五一号、6月)

野間 宏「へ狭山裁判—三」異議申立の棄却決定批判(49)」

(『世界』四七五号、6月)

若林芳則「同和主要三団体(解放同盟・全解連・同和会)のペー

ルを刺ぐ」(『政界往来』五一巻六号、6月)

村崎勝利「85全闘の開始にあたって」

(『解放の道—理論・政策・資料版』一七号、6月)

(資料)「全解連第1回中央委員会決定—1985年部落解放要

求貫徹全国闘争の方針」(同右)

《特集》「第1回西播研究集会」

(『月刊部落問題』一〇三号、6月)

級』(同上、6月)

部落解放同盟東京都連合会編『第二六回定期大会議案書』

(同上、6月)

部落解放熊本県民共闘会議編『部落解放熊本県民共闘会議第八回

総会』(同上、6月)

茨城県部落解放運動連合会編『茨城の部落問題 国民的融合で部

落問題の解決を』(同上、1984年11月)

部落解放松原地区研究会実行委員会編『第一回部落解放松原地

区研究会報告集』(同上、1985年3月)

部落解放同盟中央本部編『全国ブロック別支部長研修会1985

年』(同上、1985年)

部落解放同盟大阪府連合会西成支部青年部編『参加・開発・平和

青年部結成15周年記念誌』(同上、1985年)

大阪郵便局連合部落解放研究会編『あいつく差別事件を闘って』

(同上、1985年)

【理 論】

真田 是「日本の民主主義と部落問題研究の課題—最近の部落解

放理論の状況と課題」(『部落問題研究』八三号、4月)

木戸季市「解同新綱領の批判的検討」(同右)

編集部「部落解放研究関係文献目録(一九八四年十月—十二月)」

(『部落解放研究』四四号、5月)

渡辺俊雄「第七回研究会議・歴史理論部門会議報告」(同右)

井上正規「研究紀要」あしふの創刊にあたって」

部落解放同盟大阪府連合会婦人部編『第十五回定期大会議案書』

(同上、5月)

《特集》「結婚差別—その現実と闘い」

(『部落解放』二二二号、6月)

部落解放同盟長野県連青年部「へ座談会」結婚差別との闘いのなかで」

辻 暉夫「愛は満たされた。されど…」

門田秀夫「結婚問題への取り組みと私」

森下淳子「私の結婚」

大崎カナエ「弟の結婚」

中山武敏「狭山担当調査官が転任—最高裁の決定は近い」

野本せつ・駒井豊美・大川恵美子ほか「へ部落解放全国婦人集会

第三〇回記念座談会」『全婦』のなかで育てられて」(同右)

解放同盟南但地協・闘争委員会「養父部職員田村六郎差別事件糾

弾闘争」(『ひょうご部落解放』十九号、6月)

井上 清「日本とドイツの権力者」(『こべる』九〇号、6月)

小森龍邦「部落解放同盟第四二回大会と基本法制定国民運動」

(『社会啓発情報』二五号、6月)

在間秀和「部落差別身元調査等規制条例の意義と内容」(同右)

大谷正明「部落解放同盟第42回全国大会報告—部落解放基本

法」闘争勝利へ」(『解放教育』一九四号、6月)

岡田雅一「(現地報告)『部落実態調査』の名による『解同』奈

良県連の人権侵害」(『部落』四五八号、6月)

《特集》「不当決定に怒り出す」

(『狭山差別裁判』一三八号、6月)

部落解放同盟中央本部「抗議声明」

《再審の勝利をめざして—不当逮捕二十二年》

小森龍邦「へ基調報告」狭山の真相を全国民へ」

免田 栄「へ特別アピール」司法界のカベ打ち破り」

石川一雄「へ石川さんのアピール」勝利の日までたたかいて

く

(資料)「へ連載6」105の新証拠(足跡その2)」(同右)

本田 豊「へ連載12」えん罪—狭山事件前史—11警察制度変せん

史(7)」(同右)

鎌元昌弘「へ連載6」狭山事件・報道と分析—第1次逮捕の違法

性(2)」(同右)

山中多美男「部落解放基本法』はなぜ必要か」

(『月刊社会党』三五一号、6月)

野間 宏「へ狭山裁判—三」異議申立の棄却決定批判(49)」

(『世界』四七五号、6月)

若林芳則「同和主要三団体(解放同盟・全解連・同和会)のペー

ルを刺ぐ」(『政界往来』五一巻六号、6月)

村崎勝利「85全闘の開始にあたって」

(『解放の道—理論・政策・資料版』一七号、6月)

(資料)「全解連第1回中央委員会決定—1985年部落解放要

求貫徹全国闘争の方針」(同右)

《特集》「第1回西播研究集会」

(『月刊部落問題』一〇三号、6月)

級』(同上、6月)

部落解放同盟東京都連合会編『第二六回定期大会議案書』

(同上、6月)

部落解放熊本県民共闘会議編『部落解放熊本県民共闘会議第八回

総会』(同上、6月)

茨城県部落解放運動連合会編『茨城の部落問題 国民的融合で部

落問題の解決を』(同上、1984年11月)

部落解放松原地区研究会実行委員会編『第一回部落解放松原地

区研究会報告集』(同上、1985年3月)

部落解放同盟中央本部編『全国ブロック別支部長研修会1985

年』(同上、1985年)

部落解放同盟大阪府連合会西成支部青年部編『参加・開発・平和

青年部結成15周年記念誌』(同上、1985年)

大阪郵便局連合部落解放研究会編『あいつく差別事件を闘って』

(同上、1985年)

【理 論】

真田 是「日本の民主主義と部落問題研究の課題—最近の部落解

放理論の状況と課題」(『部落問題研究』八三号、4月)

木戸季市「解同新綱領の批判的検討」(同右)

編集部「部落解放研究関係文献目録(一九八四年十月—十二月)」

(『部落解放研究』四四号、5月)

渡辺俊雄「第七回研究会議・歴史理論部門会議報告」(同右)

井上正規「研究紀要」あしふの創刊にあたって」

- 〔『芦府部落解放研究紀要あしふ』創刊号、5月〕  
 小森龍邦「〈芦府部落解放研究所開所記念講演〉部落解放の今日の課題—部落解放研究所に期待するもの」(同右)  
 (資料)「芦府部落解放研究所紹介—規約、役職員一覧、研究員部門別構成」(同右)  
 小森龍邦「連続解放講座(Ⅱ)糾弾闘争における究極の論理について」(『部落解放ひろしま』二号、5月)  
 石倉康次「(動向)〈研究〉部落問題をめぐる新しい論点—『部落問題研究』82輯の特集—」(『部落』四五七号、5月)  
 奥山峰夫「(動向)〈研究〉部落問題研究所の85年度研究事業計画」(『部落』四五八号、6月)

### 【解放教育】

- 《特集》「子どもからの出発—教師のしごと再入門」  
 (『解放教育』一九二号、4月)  
 〈あすへの発信〉  
 心のたけじ「一事を貫いてくれ」  
 玉本「格」先生」  
 住田利雄「広い視野に立って」  
 小森龍邦「人間というものを深く見つめる」  
 石川憲彦「あおられる」子どもの危機」  
 紙上碩之「学級で育ちあう子供」  
 岸木良子「ひと箱の玉ねぎむぎ」  
 園分一太郎「資料・教育実践をどうまとめるか」

- (同上、4月)  
 大阪市立長橋小学校編「ながはし 子どもたちへ語りつぐもの」  
 〈大阪市立長橋小学校70周年記念誌〉(同上、4月)  
 東上高志著「やさしい学校同和教育」(部落問題研究所、4月)  
 西元宗助著「被差別部落と教育と宗教」  
 (広池学園出版部、4月)  
 井上新二著「文字を奪われた人々」(女子パウロ会、4月)  
 全国同和教育研究協議会編『全国民の課題として前進 第36回全国同和教育研究大会紀要』(同上、4月)  
 大阪府立大学同和教育委員会・大阪市立大学同和教育研究室編『部落問題ハンドブック』(同上、4月)  
 《特集》「解放教育研究の今日的課題」  
 (『部落解放研究』四四号、5月)  
 鈴木祥蔵「地域からの教育改革—地域教育計画の策定にむけて—」  
 木下繁弥「学力保障の現状と課題—『促進指導』にかかわって—」  
 平沢安政「解放教育研究国際化への一考察—『共通語』による対話の広がりをめざして—」  
 北窓正明「『労働』学習の授業創造—今日の実践展開を中心に、今後の方向を探る—」  
 前川 実「大阪府における同和教育行政の現状と今後の課題」  
 大内豊久「『自主的・民主的同和教育論』の動向—東上高志

日高六郎「差別を超える視点」

- 大本家康・中山広子・小田やす子ほか「〈座談会〉差別とどう対面させるか—岡山の親と教師が模索すること」(同右)  
 広島解放教育研究会事務局「追悼・金尾英明」(同右)  
 中村弘三「ヘルボ・教育現場・6〈荒野に学力が育つとき〉その2」(同右)  
 室井 修「教育行政と同和教育」  
 (『部落問題研究』八三号、4月)  
 小曾根 隆「子どもの現状と同和教育の課題検討—Y市における同和地区生徒の高校進学の実状と教育上の課題—」(同右)  
 別所秀夫「(動向)〈運動〉『生徒の進路保障と、公正で民主的な教員採用制度確立をめざす全国交流会』開かる」  
 (『部落』四五六号、4月)  
 松田 博「〈部落問題との出会い〉進路保障のとりくみのなかで」(同右)  
 東上高志「〈今月の部落問題・同和教育〉はるかなる水平社」  
 (『月刊』九六号、4月)  
 石田真一「〈連載〉部落の青春—仏像画」(同右)  
 田広寿千「小学校の部落問題学習・覚書」(同右)  
 三枝正雄・村上 保「自由と民主主義を圧殺する暴挙—教員集会の報告」(『月刊部落問題』一〇二号、4月)  
 高知県教育委員会同和教育指導課編『同和教育行政の現状』(同上、4月)  
 長崎県同和教育研究協議会編『戦争は最大の差別である』

『人間権の教育』を中心に—

- 前川 実「第七回研究会議・教育地域部門会議報告」(同右)  
 鈴木祥蔵「園分一太郎氏の死を悼む—その遺産を受け継ぐ」  
 (『部落解放』二三〇号、5月)  
 園分一太郎「生活綴方」(同右)  
 土路生操子「子どもと絵本」  
 (『芦府部落解放研究紀要あしふ』創刊号、5月)  
 近池雅良「今、子どもたちと—私の想い」(同右)  
 小原清治郎「小学校における人権学習の実践例」(同右)  
 石黒清隆「中学校教育の現状と取り組み—差別事件を通して」(同右)

《特集》「部落問題学習を計画する」

- (『解放教育』一九三号、5月)  
 今野敏彦「部落問題学習で何を学ぶのか」  
 三村益夫「差別と解放を部落でたしかめる」  
 大本家康「子ども会を軸に」  
 浜田博文「ここから始まる」  
 松原市立三宅小学校社会科部「部落問題学習を自分の生活と重ね合わせることをめざして」  
 星野安三郎「国際人権規約をどう教えるか」  
 寺木伸明・花沢光正・三宅都子・稲垣有一(司会)「〈座談会〉部落史をどう教えるか」(同右)  
 大塚忠広「国民融合論と部落問題学習」(同右)

園分久枝・園分真一・乙部武志ほか「園分一太郎先生をおくる」

(同右)

鈴木祥蔵「園分一太郎先生の死を悼む」(同右)

福地幸造「追悼・園分一太郎の仕事と解放研」(同右)

編集部「はるかな雪の原」に立って」(同右)

園分一太郎「断章―人間と解放と」(同右)

海老原治善「公教育の擁護の発展をめざして―教育改革国際シン

ポジウムと解放教育」(同右)

中村弘三「ヘルポ・教育現場・7」包囲網を突破せよ」(その1)

―滋賀・新田の子どもたちをめぐって」(同右)

広島修道大学「同和」教育委員会「ルポ・差別の現場から―大木

町立大古小学校差別事件のてん末」

(「部落解放ひろしま」二号、5月)

山田 稔「(動向)〈文化〉『伸びよ大介 なかまたち』―滋同

教が同和教育実践教材を制作」(「部落」四五七号、5月)

海老原治善「現代の人権論と教育改革―臨教密に欠落したもの」

(「父母と教師と障害児をむすぶ人権と教育」二号、5月)

石田真一「〈連載〉部落の青春―召集令状」

(「月刊の子も伸びる」九七号、5月)

東上高志「〈今月の部落問題・同和教育〉子どもいのちを輝か

す」(同右)

村橋 端「吹田二中事件」の教師たち」(同右)

大阪府同和教育研究協議会ほか編「第12回にんげん実践研究集

会」(同上、5月)

桃山学院大学人権問題研究・資料室編『桃山学院大学人権問題研  
究・資料室報№5』(同上、5月)

西播地区同和教育研究協議会編『明日をひらく 西播地区同和教育  
のあゆみ 解説編』(同上、5月)

大阪府立高等学校同和教育研究会編『同和教育 昭和59年度』

(同上、5月)

内山一雄編『人権教育の基礎理論』(明石書店、5月)

(資料)「〈兵庫部落出身教職員のおだより〉③ 隣友会をめぐって  
発展させよう」(「ひょうご部落解放」一九九号、6月)

《特集》「自然は子どもたちの」

(「解放教育」一九四号、6月)

(「解放教育」一九四号、6月)

福塚史代「膚こすりあって成長する子どもたち」(同右)

野田稔三郎「目前の同和教育を―第14回全国解放教育研究会に  
参加して」(同右)

中村弘三「ヘルポ・教育現場・8」包囲網を突破せよ」(その2)

(同右)

(資料)「財団法人解放教育研究所設立関係資料」(同右)

《特集》「現代における同和教育とはなにか―中都市の場合」

(「部落」四五八号、6月)

北出篤哉・坂口善美・大西民雄ほか「シンポジウム・部落問  
題が提起するいくつかの教育的課題―三重県松阪市からの  
報告」

東上高志「現代における同和教育を考える視点―いま、岡山  
県でおこっていることを中心に」

平野教育共闘会議編『第一次児童・生徒意識調査』

(平野同和教育推進協議会、1984年10月)

文部省編『昭和58年度同和教育研究協議会記録』

(同上、1984年11月)

大阪府立茨島高等学校編『第三回生活実態調査アンケート集計結  
果』(同上、1984年11月)

岡本英二編『つばめの子』

(部落解放同盟本島支部、1984年12月)

松原市立松原第三中学校編『松原三中教育№2 研究・実践報告  
集・参考資料集』(同上、1985年2月)

松原市立松原第三中学校編『松原三中教育№3 研究・実践報告  
集・参考資料集』(同上、1985年2月)

平野同和教育推進協議会編『あゆみ 1984年度』

(同和事業平野地区協議会、1985年3月)

めだか子ども会編『めだか 1984年度子ども会文集』

(同上、1985年3月)

高知県教育委員会義務教育課編『同和教育資料 実践記録 昭和  
59年度』(同上、1985年3月)

高知市立朝倉第二小学校編『ひかり第3集 地域の教材化』

(同上、1985年3月)

泉佐野市同和教育研究会・泉佐野市教育委員会編『帝國主義と民  
衆 明治時代の日本』〈同和教育指導資料集一九八四年度〉

(同上、1985年3月)

広島修道大学人権問題委員会編『異化―今、人権を考える』創刊

岡本信幸「高校における自主的・民主的同和教育と私」

中尾健次「同和教育の歴史と課題 戦前・戦後の連続面と非連続  
面を通して」(「大阪教育大学教育研究所報」二〇号、6月)

(資料)「第7回部落問題全学シンポジウム収録」(同右)

海老原治善「〈臨教密〉審議経過の概要(その2)を読んで」研  
究者から―平和・人権・民主教育の理念なく学校複線化、差別  
の拡大をめざす」(「みんなで教育改革を」№2、日本教職員  
組合教育改革研究会、6月)

中野陸夫「『同和』教育研究の総括と研究課題」

(「現代授業研究年鑑85年版」〈授業研究№28〉、6月)

東上高志「〈今月の部落問題・同和教育〉教師のいのちを輝かす」

(「月刊の子も伸びる」九八号、6月)

石田真一「〈連載〉部落の青春―軍隊の教育」(同右)

長崎県同和教育研究協議会編『平和&人権 from NAGA  
SAKI』(同上、6月)

藤井千鶴子著「続・オナゴ先生がんばる」

(部落問題研究所、6月)

園分一太郎先生を偲ぶつどい実行委員会編『園分一太郎先生を偲  
ぶつどい』(資料)』(同上、6月)

鈴木祥蔵・第二次解放教育計画検討委員会編『地域からの教育改  
革 大阪の解放教育の点検と再構築』(部落解放研究所、6月)

大方町「解放」改訂委員会編『解放』〈再改訂版〉

(大方町教育委員会、1984年3月)

文部省編『同和教育資料』(同上、1984年7月)

号(同上、1985年3月)  
大阪市教育センター編『戦後大阪市教育史(1)』〈研究紀要第一号〉(同上、1985年3月)

大阪市教育センター編『大阪市同和教育年表(1)一九六五年—一九七〇年』(同上、1985年3月)

大阪市教育センター編『読本「にんげん」を生かした授業の記録—学級集団づくり①』〈研究報告2〉  
(同上、1985年3月)

龍谷大学同和問題研究会編『同和問題講演資料集II』  
(同上、1985年3月)

大阪府同和教育研究協議会進路実態追指導プロジェクトチーム編『大阪の進路保障 進路実態追指導調査報告第一四集』  
(大阪府同和教育研究協議会、1985年3月)

高知県同和教育研究協議会編『解放教育をすすめるために 高知県同和教育研究大会報告集 1984年度』  
(同上、1985年)

【人権】

高良留美子「詩・マジシ・クネーネの家—ロスアンゼルスにて」  
(『部落解放』二二八号、4月)

趙根在「ヘンセン病の同胞たち・4」地底での選択」  
(『解放教育』一九二号、4月)

松本公忠「トラベリング・ピープルと教育—変化をみつめる子どもたち」(4)『トラベラー教育』—独自の課題にこたえろいとな

(解放出版社、4月)

松下竜一著『記憶の闇 甲山事件 1974-1984』  
(河出書房新社、4月)

84生野民族文化祭実行委員会編『生野民族文化祭写真集』  
(同上、4月)

教育の反動化を憂うる学者・研究者・文化関係者の会編『教育における「日の丸」・「君が代」・「愛国心」』(同上、4月)

ホセ・L・ゴメスデルプラド、和島若吉、金東勲ほか(八座談会)人種差別撤廃条約の早期批准をめざして—ホセ・L・ゴメスデルプラドさんを囲んで」(『部落解放研究』四四号、5月)

部落解放研究所人権部会「〈資料紹介〉人種差別撤廃条約第四・七条に関する研究報告(3)」(同右)

齋藤幸夫・齋藤ヒデ(聞き手) 森井暁「インタビュー・二十九年目の生還—松山事件の元被告とその母に聞く」  
(『部落解放』二二〇号、5月)

正木峯夫「広島市の在日「朝鮮」人—「政治犯」救援運動と指紋押捺拒否闘争」(『部落解放ひろしま』二二号、5月)

青木秀男「優しく、哀しく、したたかに—インドネシアの下層社会から」(同右)

荻野目功「協調と対立の岐路 ILO基準の選択」  
(『学習のひろば』二七九号、5月)

大石武一「ユネスコ精神をふたたび」(『世界』四十四号、5月)

楠原 彰「飢餓キャンペーンも一つの視点」(同右)

日本弁護士連合会「『労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派

遣労働者の就業条件の整備等に関する法律案』に対する意見」  
(『自由と正義』三六卷五号、5月)

《特集》「犯罪報道と人権」  
(『法律のひろば』三八巻五号、5月)

清水英夫「報道の自由と人権保障との調和」  
橋 弘道「調査報道と人権—報道実務の立場から」  
藤村邦由「報道と人権について」  
内田剛弘「報道されない自由と権利」  
浅野健一「犯罪報道における匿名主義について」  
前沢 猛「犯罪報道とマスコミの対応—自主規制機関の現状と将来」  
堀部政男「イギリスにおける犯罪報道と人権」  
《特集》「男女雇用平等の現段階」  
(『労働法律旬報』一一二〇号、5月)

石飛 仁「闇の記録『中国人強制連行』は日本戦後史の原点である。—取材ノート」(『同時代批評』十三号、5月)

阪本昌成「住民基本台帳の公開とプライバシーの保護」  
(『ジュリスト』八三五号、5月)

《資料》「〈報告会〉『国連婦人の十年世界会議』の第三回準備委員会(国連婦人の地位委員会第3会期)」  
(『月刊婦人展望』三五〇号、5月)

外務省編「国連と人権問題—第41回国権委員会を中心に」  
(『世界の動き』四三二号、5月)

渡辺 忠「レポート」第4回国際青年国連諮問委員会

み」(『部落』四五六号、4月)

孝忠延夫「B・R・アンベードカルとインド憲法(2)・完—少数者保護規定を中心として」  
(『関西大学法学論集』三五卷一号、4月)

《資料》「『一方的核軍縮措置』—国連事務総長報告(1984年10月5日) 国連文書A/39/516」  
(『世界政治—論評と資料』六九〇号、4月)

《資料》「アフリカの危機解決に向けて—ラゴス行動計画」  
(『月刊国連』六四卷三号、4月)

総理府広報室「婦人(2)」(『月刊世論調査』一九二号、4月)

女性問題図書総目録刊行会編『女性問題図書総目録 1985』  
(同上、4月)

全国婦人の集い実行委員会編『男女の平等をめざして 自立・連帯・行動 25周年記念全国婦人の集いテキスト』  
(同上、4月)

ICFTU日本加盟組織連絡協議会編『ICFTU世界婦人会議』(同上、4月)

磯村英一・一番ヶ瀬康子・原田伴彦編『講座差別と人権第4巻 民族』(雄山閣、4月)

竹中恵美子著『私の女性論 性的役割分担の克服のために』  
(啓文社、4月)

藤原 彰著『南京大虐殺』へ岩波ブックレットNo.43  
(岩波書店、4月)

アナント・パイ編・村越末男訳『アンベードカル物語』

遺労働者の就業条件の整備等に関する法律案』に対する意見」  
(『自由と正義』三六卷五号、5月)

《特集》「犯罪報道と人権」  
(『法律のひろば』三八巻五号、5月)

清水英夫「報道の自由と人権保障との調和」  
橋 弘道「調査報道と人権—報道実務の立場から」  
藤村邦由「報道と人権について」  
内田剛弘「報道されない自由と権利」  
浅野健一「犯罪報道における匿名主義について」  
前沢 猛「犯罪報道とマスコミの対応—自主規制機関の現状と将来」  
堀部政男「イギリスにおける犯罪報道と人権」  
《特集》「男女雇用平等の現段階」  
(『労働法律旬報』一一二〇号、5月)

石飛 仁「闇の記録『中国人強制連行』は日本戦後史の原点である。—取材ノート」(『同時代批評』十三号、5月)

阪本昌成「住民基本台帳の公開とプライバシーの保護」  
(『ジュリスト』八三五号、5月)

《資料》「〈報告会〉『国連婦人の十年世界会議』の第三回準備委員会(国連婦人の地位委員会第3会期)」  
(『月刊婦人展望』三五〇号、5月)

外務省編「国連と人権問題—第41回国権委員会を中心に」  
(『世界の動き』四三二号、5月)

渡辺 忠「レポート」第4回国際青年国連諮問委員会

53

『オイスカ』二七七号、5月)  
《特集》「指紋捺捺問題と自治体」

（『地方自治通信』一八六号、5月）

神長勲・新美隆・（司会）江橋崇「座談会」『告発せず』  
発言がもたらした新たな状況―指紋捺捺問題への自治体の  
視点をさぐる」

原野 翹「外国人登録―指紋捺捺事務は自治体にとって合理  
性をもちうるか―その法的検討」

小川 正「公務員の『告発義務』の法理をめぐって」

小川雅由「自治体現場からみた指紋捺捺問題―指紋制度は形  
骸化した過去の遺物」

田中 宏「自治体は『外国人』が見えているか―住民に  
おける内外人平等の実現のために」

鄭 雅英「指紋捺捺拒否者の論理」

小川雅由「法務省」5・14通達（外国人登録事務の適正な  
運用について）に対する批判論点」

（資料）「第七一回ILO総会議超紹介」雇用の男女平等（第  
7議題・一般討議）「『世界の労働』三五巻五号、5月）

奈良県編「婦人の生活実情調査結果報告書（A調査）1984年」  
（同上、5月）

アフリカ行動委員会編『南部アフリカ年報 1985年度版』

（アフリカ行動委員会ニュースNo.25）（同上、5月）

日本弁護士連合会編『人権白書第三集 昭和六〇年版』  
（日本評論社、5月）

牧港篤三「一フィートにたくす」

中山良彦「語り部とは何なのか―ひめゆり平和祈念資料館建  
設運動中間報告」

本村つる「四十年目の遺骨収集に想ふ」

平良啓子「学童疎開船『対馬丸』の遭難」

石垣正二「みのかさ戦記―石垣島の防衛隊・第五〇六特設整  
備工兵隊」

杉村房彦「海外外だより」黒アフリカ（ケニア）の社会教育へそ  
の1―識字学級とビレッジ・ポリテクニクについて」

（『月刊社会教育』三四二号、6月）

奥野保男「揺らぐ南アのアパルトヘイト体制」

（『世界政治―論評と資料』六九四号、6月）

（資料）「ネルソン・マンデラの獄中からの書簡『私は人民の自  
由の生得権を売り渡さない』」（同右）

（資料）「南アフリカ労働組合会議の声明『南ア鉱山労働者の労  
働条件と権利』」（同右）

大谷 強「85年度政府予算にみる障害者政策」

（『季刊福祉労働』二七号、6月）

山口正和「障害児不在の『障害』児教育分科会―札幌教研第  
13分科会」（同右）

土本亜理子「ネットワーキング31」アジアの女性かけこみセン  
ター（日本キリスト教婦人矯風会）」

（『朝日ジャーナル』一三七六号、6月）

田中 宏「在日韓国・朝鮮人の法的処遇」

芝原邦爾著『刑事司法と国際準則』（東京大学出版会、5月）  
障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会編『知っておきたい障  
害者福祉制度活用のすべて 障害者制度・権利便覧（普及版）』  
（労働旬報社、5月）

在日韓国人政治犯を支援する家族・僑胞の会訳『一九八四年韓国  
全斗煥政権下暴力事件―虐げられた者に自由を』  
（同上、5月）

小川政亮編『人権としての社会保障原則 社会保障憲章と現代』  
（ミネルヴァ書房、5月）

日本労働法学会編『男女雇用平等法論』日本労働法学会誌65号  
（総合労働研究所、5月）

石 明次「マイノリティシリーズ②」差別され、差別する仕  
組み」（『ひょうご部落解放』一九号、6月）

李 英和「海外ノート」アメリカ合衆国の朝鮮人（同右）

友永健三「第二次大戦終結四〇年―今こそ平和と人権のうねり  
を」（『社会啓発情報』二五号、6月）

稲富 進「在日朝鮮人の指紋捺捺問題とどう教えるか」

（『解放教育』一九四号、6月）

趙根在「ハンセン病の同胞たち・5」全生園を訪れて」  
（同右）

《特集》「戦世40年の沖縄」（『青い海』一四二号、6月）  
大田昌秀「沖縄戦を学ぶ基本的前提―君はもう悲しみと怒り  
を忘れたか。」

大城将保「『沖縄戦』の現在」

（『経済評論』三四巻六号、6月）

村上 太「興信所・探偵社ほどの程度信用できるのか」

（『政界往来』五一巻六号、6月）

明石 康「内側からみた国連の四〇年―戦争、ユネスコ、そして  
日本」（『世界』四七五号、6月）

和田幹彦「西東問話」国連人権委員会だより―ジュネーブから  
の報告」（『判例タイムズ』五五三三号、6月）

《特集》「女性―伝統と変革」  
（『ユネスコクォーター』二五巻六号、6月）

『労働基準広報』編集部編『男女雇用機会均等法ハンドブック』  
（労働基準調査会、6月）

大阪大空襲の体験を語る会編『大阪市戦災焼失区域図（昭和21年  
刊）へ複製版』（日地出版、6月）

大阪市教育委員会編『性教育手引き書 中学校編』  
（同上、6月）

上田卓三編著『重税で栄えた国はない』（同上、6月）

戸塚悦朗・広田伊藤夫編『人権後進国日本へ精神医療と人権2』  
（亜紀書房、6月）

沖繩戦―沖繩を学ぶ100冊刊行委員会編『沖繩戦―沖繩を学ぶ  
100冊』（勁草書房、6月）

土井たか子編著『WE LOVE 憲法―おたかさん憲法を語  
る』（すくらむ社、6月）

レオ・キャノウィッツ著『イコール・ライツ』（有斐閣、6月）  
T・F・ペティグリー著、今野敏彦ほか訳『現代アメリカの偏

見と差別』〈世界差別問題叢書2〉(明石書店、6月)  
 国際連合広報センター編『南アフリカのapartheidに苦しむ黒人女性』(同上、6月)  
 井上理津子ほか著『女・仕事』(長征社、6月)  
 在日韓国人政治犯を救援する家族・橋胞の会編『在日韓国人政治犯を救うために』(縮刷版)一九七七・九・五―一九八五・五・一』(同上、6月)

部落解放研究所編『雇用の平等を求めて―ILOと日本』(同上、6月)

成田得平・花崎皋平編『近代化の中のアイヌ差別の構造』〈世界差別問題叢書3〉(明石書店、6月)

岩波書店編『講座現代・女の一生2 卒業・就職』(同上、6月)  
 阿部照哉・野中俊彦著『平等の権利』

(法律文化社、1984年6月)

日本原水爆被害者団体協議会編『いま、被爆者が願っていること―「被爆者要求調査」報告書』(同上、1984年7月)

砂沢クラ著『ク スクップ オルシペ 私の一代の話』

(北海道新聞社、1984年8月)

笠原一男著『人間の歴史 仏教にみる日本女性解放史』

(放送大学教育振興会、1984年8月)

荒井源次郎著『アイヌの叫び』

(北海道出版企画センター、1984年8月)

NGO研究グループ編『NGOダイレクトリー 開発協力にかかわる日本の民間・非営利団体』(同上、1984年8月)

在日本大韓民国居留民団編『指紋拒否した人のために』「外登法」

の改正にむけて』(同上、1985年3月)

堺市教育委員会社会教育部・婦人会館編『婦人問題に関する男女の意識調査』(同上、1985年3月)

国際婦人年大阪の会編『資料国際婦人年』

(創元社、1985年3月)

障害児を普通学校へ全国連絡会編『なぜこの学校に行けないの?』(八月書館、1985年3月)

大阪市教育センター編『在日外国人教育関係資料(丁) 戦後史を中心に』〈研究資料2〉(同上、1985年3月)

福地曠昭著『沖縄女工哀史』(那覇出版社、1985年3月)

豊中市女性問題推進本部編『女性のくらしと意識に関する調査報告書 現代家族のあり方をめぐって』(同上、1985年3月)

富山一郎『戦間期沖縄における農村労働力流出の分析―大阪労働市場への流出を中心として』

(『農業経済研究』五六巻四号、1985年3月)

村越末男『基本的人権と同和問題―世界の旅から』(同和問題研究)大阪市立大学同和問題研究会紀要2号、1985年3月

35周年記念全国婦人の集い中央集会編『男女の平等をめざして自立・連帯・行動 実効ある雇用平等法の制定』

(同上、1985年)

## 【社会啓発】

松浦勇太郎・林 力・中山英一ほか「座談会」いま、社会啓発

日本被団協原爆被爆者中央相談所編『被爆者相談のための問答集』(同上、1984年9月)

自由人権協会編『捜査官憲による被疑者と弁護人との接見交通権の違法な侵害について』〈国際人権規約に関する市民版「人権レポート」No.4〉(同上、1984年10月)

横山孝雄著『アイヌって知ってる?』

(汐文社、1984年10月)

久保田洋「人権侵害に関する国連への提訴と国連の対応―経社理決議1503手続研究」

(『外務省調査月報』二六巻一号、1984年10月)

戸塚悦朗・広田伊藤夫編『日本収容所列島へ精神医療と人権1』(亜紀書房、1984年11月)

東九条松ノ木町40番地実態調査団編『九条思潮VOL6 東九条

松ノ木町40番地実態調査報告書』(同上、1984年11月)

日本原水爆被害者団体協議会編『原爆被害者の基本要請』(同上、1984年11月)

国際連合広報センター編『軍縮の基礎知識シリーズ35』(軍縮に

取り組む国連の機構』(同上、1984年12月)

国連社会開発人道問題センター女性の地位向上部編『女性の権利解説・女性差別撤廃条約』(同上、1984年)

歴史教育者協議会編『日の丸・君が代・紀元節・教育勅語(三訂版)』(地歴社、1985年1月)

大阪市教育委員会婦人教育課編『女性の団体・グループ調査報告書』(同上、1985年3月)

の課題は―地対協意見具申元年を迎えて」

(『社会啓発情報』二四号、4月)

岩田直二ほか「最近の啓発映画を纏る」(同右)

小林 茂「出会い・民衆史を追究して」(同右)

井上英之「日本の民主主義と部落問題研究の課題―社会教育・社会啓発」(『部落問題研究』八三号、4月)

中川晴夫・吉田 茂「社会教育と文化活動分科会の概要」

(同右)

《特集》「現代部落問題入門」(『部落』四五六号、4月)

鈴木 良「なぜいま部落問題を学ぶのか」

原田覚次「部落問題学習と教育実践」

馬原鉄男「部落はなぜ残ったのか」

東上高志「部落問題は今どうなっているのか」

成沢栄寿「部落問題の解決とは―そのためのとりくみ」

木村京太郎「これからの部落問題を学ぶ人へ―部落問題の解決めざして」

京都市職員連合会学習協「楽しく学んだ部落問題」

東上高志「部落問題の入門書・学習書」

北川鉄夫「(動向)〈文化〉東京でのマスコミ懇談会」(同右)

東上高志「(講座)これからの社会啓発」いまなぜ 社会啓発

か」(同右)

久松倫生「社会同和教育についての自己反省(下)―大阪市における今日の到達点と問題点」

(『月刊部落問題』一〇二号、4月)

福岡安則著『現代社会の差別意識』〈解放社会学双書3〉

(明石書店、4月)

部落解放研究所編『地域における人権草の根運動』〈社会啓発双書1〉(解放出版社、4月)

東上高志著『みんなの部落問題〈新版〉』

(部落問題研究所、4月)

人権啓発推進大阪協議会編『人権啓発推進大阪協議会昭和60年度通常総会』(同上、4月)

大阪府労働部・公共職業安定所編『採用と人権 従業員採用の手引』(同上、4月)

加藤敏明「第七回研究会議・啓発運動部門会議報告」

(『部落解放研究』四四号、5月)

江嶋修作「結婚差別をめぐるハムレットたち―現代若者の『差別意識』分析を通して」(『部落解放』二二〇号、5月)

永井守彦「部落問題との出会い」『悲濤』を讀んでから

(『部落』四五七号、5月)

東上高志「講座これからの社会啓発2」II自由な意見の交流を」(同右)

部落解放研究所啓発企画室編『第13期部落解放大学講座受講生のしおり』(同上、5月)

東上高志「講座これからの社会啓発3」III社会啓発をゆがめたもの」(『部落』四五八号、6月)

大阪市同和事業促進両国地区協議会編『人権啓発資料 両国の歴史・生活・運動』(同上、6月)

高槻市・高槻市教育委員会編『みんながしあわせになるために』(同上、1985年)

〔文化・思想〕

《特集》「伝承と創造―たたかひの祭り(演劇祭)」

(『部落解放』二二八号、4月)

〔撮影〕太田順一「グラフィア・演劇祭 第三回たたかひの祭り」

《芸の根っこ(インタビュー)日野範之》

鳥取・田通寺人形芝居保存会「でこ芝居・よろこんでもらうと、くたびれは直りました」

和歌山・湯浅支部「春駒・雪が降ってんに、ハンテンは汗でしずくになりました」

長崎俊昭「大阪・西部の春駒」

広島・北久保支部「春駒・うけつがれる春駒」

山口・周防猿まわしの会「猿まわし・差別され、過酷な生活をしいられたその中からこそ芸が鋭くなった」

福岡・依井二支部「創作劇『うけつぐ』・子ども会の活動を周りで支えること」

大阪・日之出支部教育父母の会「創作劇『わたしたちはひとつになつてたあがった』・人の輪ができた」

立花 好・福永謙二「創作劇『万年橋』・劇活動が、かくれものを引き出した」

〈演じおえて〉

鹿兒島県編『鹿兒島県における同和問題についての意識調査』(同上、6月)

部落解放研究所編『部落の歴史 差別の歴史から学ぶ』

(大阪企業同和問題推進連絡協議会、6月)

江嶋修作編『社会「同和」教育変革期』〈解放社会学双書2〉

(明石書店、6月)

吉田猪三三著『みんなの幸せのために 草の根同和教育のすゝめ』(解放出版社、6月)

東上高志著『やさしい企業内同和研修』

(部落問題研究所、6月)

茨木市・茨木市教育委員会編『へしあわせへのみちびき第11集 社会教育と同和对策事業』(同上、1985年2月)

堺市人権啓発室編『堺市人権啓発室概要 昭和59年度』

(同上、1985年3月)

和歌山県教育庁社会教育課編『昭和59年度社会同和教育資料集』

〈実践に学ぶ〉その十(同上、1985年3月)

野口道彦「同和教育の諸タイプとその効果」(同和問題研究〈大阪市立大学同和問題研究会紀要〉)八号、1985年3月)

三重県福祉部同和課編『同和問題の解決のために』

(同上、1985年3月)

東大阪市人権読本編集委員会編『人権読本』

(同上、1985年3月)

大阪市同和事業促進協議会編『人権啓発ビデオ一覧 1985年版』(同上、1985年)

池田千津子・杉本絹子「創作劇『林病院差別事件糾弾』を演じつ」

(同上、1985年)

〔文化・思想〕

《特集》「伝承と創造―たたかひの祭り(演劇祭)」

(『部落解放』二二八号、4月)

〔撮影〕太田順一「グラフィア・演劇祭 第三回たたかひの祭り」

《芸の根っこ(インタビュー)日野範之》

鳥取・田通寺人形芝居保存会「でこ芝居・よろこんでもらうと、くたびれは直りました」

和歌山・湯浅支部「春駒・雪が降ってんに、ハンテンは汗でしずくになりました」

長崎俊昭「大阪・西部の春駒」

広島・北久保支部「春駒・うけつがれる春駒」

山口・周防猿まわしの会「猿まわし・差別され、過酷な生活をしいられたその中からこそ芸が鋭くなった」

福岡・依井二支部「創作劇『うけつぐ』・子ども会の活動を周りで支えること」

大阪・日之出支部教育父母の会「創作劇『わたしたちはひとつになつてたあがった』・人の輪ができた」

立花 好・福永謙二「創作劇『万年橋』・劇活動が、かくれものを引き出した」

〈演じおえて〉

鹿兒島県編『鹿兒島県における同和問題についての意識調査』(同上、6月)

部落解放研究所編『部落の歴史 差別の歴史から学ぶ』

(大阪企業同和問題推進連絡協議会、6月)

江嶋修作編『社会「同和」教育変革期』〈解放社会学双書2〉

(明石書店、6月)

吉田猪三三著『みんなの幸せのために 草の根同和教育のすゝめ』(解放出版社、6月)

東上高志著『やさしい企業内同和研修』

(部落問題研究所、6月)

茨木市・茨木市教育委員会編『へしあわせへのみちびき第11集 社会教育と同和对策事業』(同上、1985年2月)

堺市人権啓発室編『堺市人権啓発室概要 昭和59年度』

(同上、1985年3月)

和歌山県教育庁社会教育課編『昭和59年度社会同和教育資料集』

〈実践に学ぶ〉その十(同上、1985年3月)

野口道彦「同和教育の諸タイプとその効果」(同和問題研究〈大阪市立大学同和問題研究会紀要〉)八号、1985年3月)

三重県福祉部同和課編『同和問題の解決のために』

(同上、1985年3月)

東大阪市人権読本編集委員会編『人権読本』

(同上、1985年3月)

大阪市同和事業促進協議会編『人権啓発ビデオ一覧 1985年版』(同上、1985年)

池田千津子・杉本絹子「創作劇『林病院差別事件糾弾』を演じつ」

(同上、1985年)

〔交流会から〕

宮本 研「もっと軌道にのせて、もっと大胆に」

土方 鉄「ようやく種がまかれた、芽が出た」

岡崎幹・時本純・高山順一ほか「感想」

〔資料〕「演劇祭(第三回たたかひの祭り)の記録」

山中正義「へ土佐の部落の昔ばなし世間はなし」②「柱の穴」

(同右)

《創る―みんなでつくる文化のページ》(同右)

江藤巧也「(連載)差別者の群れの中に」⑫(同右)

(『解放教育』一九二号、4月)

北川鉄夫「(う)の目たかの目」五寸釘寅吉」

(『部落』四五六号、4月)

沖浦和光「日本の祭祀儀礼と賤民芸能―芸能はなぜ賤民層によつて担われたのか(その二)」(『部落解放』二二〇号、5月)

多田恵美子「へ連載・歌い継ぐ部落の伝承歌第二回」亥の子唄―大阪・野間口」(同右)

(『部落』四五六号、4月)

山中正義・(へ)浜口安宏「へ土佐の部落の昔ばなし世間はなしの3」中將姫の哀話」(同右)

今堀誠二・中島敏彦「へ対談・この人と」部落解放の思想と文化」

(『部落解放ひろしま』二二号、5月)

花岡一江「わたしの聞いたみじかな話あれこれ」(同右)

花岡一江「わたしの聞いたみじかな話あれこれ」(同右)

辻駒啓三「川に生きたる一鮎魚」たたき」にみる被差別の勤と智恵」(同右)

古田健二「文化のひろば」解放文化祭に参加して一伝統的な部落の芸能に解放への展望があるのだろうか」(同右)  
佐藤安男「聞き書き」アコさんの経験へその一」

(『部落』四五七号、5月)  
北川鉄夫「へうの目たかの目2」『改題』あれこれ」(同右)  
篠沢純太「風の王国」に描かれた『サンカ』像」

(『同時代批評』十三号、5月)  
塩見鮮一郎「弾左衛門」のシンフォニー『浅草弾左衛門』(天保春青篇)を書き終えて」(同右)

大津市生活文化研究所編『明日への伝言 1』(同上、5月)  
北川鉄夫著『部落問題をとおりあげた百の小説』

(部落問題研究所、5月)  
長門 勇「へ上杉佐一郎HOTSPOOT」修業時代に学んだもの」(『部落解放』二二二号、6月)

『創る一みんのでつくる文化のページ』(同右)  
城崎 進「この頃思ふこと一父の想い出」

(『ひょうご部落解放』十九号、6月)  
岩田直二・中山節夫・松井寛子ほか「魅力ある映画づくりのために」(『社会啓発情報』二五号、6月)

岩田直二「出会い・共に演じる中で」(同右)  
中山英一ほか「文芸作品から学ぶ部落問題」(同右)  
江藤巧也「(連載)差別者の群れの中にへ」

(『解放教育』一九四号、6月)

北川鉄夫「へうの目たかの目3」海外進出をめぐる」(『部落』四五八号、6月)  
山路靖子「(動向)文化」『差別からの解放一胸張ってふるさとを』を見て」(同右)

丸林勝人「部落問題との出会い」戦争ごっここのなかで」(同右)  
中村幸夫・明定義人「当代駆け込み寺考」について考える」

(『みんなの図書館』九七号、6月)  
村崎修二「丸岡忠雄さん急逝」

(『月刊部落問題』一〇三号、6月)  
三國連太郎著『俳優X君への手紙』(明石書店、6月)  
塩見鮮一郎著『浅草弾左衛門 第一部』(批評社、6月)

川端俊英著『破戒』とその周辺一部落問題小説』(文理閣、1984年1月)  
福岡部落史研究会編『カンテラ 部落の語り伝え』

(同上、1984年3月)  
吉田啓文著『わが絶唱 ある青春の記録』

(同上、1984年10月)  
玉田勝郎著『優しさまとめて花いちもんめ 灰谷文学の正しいみ方』(風濤社、1984年10月)

鶴原識字学級運営委員会編『鶴原識字学級作品集』「つるはら」(1)「(泉佐野市教育委員会、1985年3月)  
樫井識字学級運営委員会編『かしのしきじぶんしゅう』

(泉佐野市教育委員会、1985年3月)

【宗教】

門信徒会運動本部・同朋運動本部編『御同朋の社会をめざして第一集 基幹運動研修資料』(本願寺出版部、4月)

マヌシヤの会「『一本化』の動きに対する危惧表明書」(『マヌシヤ同朋運動研究会紀要』三号、5月)

岩本孝樹「同朋運動の非同朋運動化について」(同右)  
仲尾孝誠「同朋運動における『同和』問題」(同右)  
編集部「資料」『一本化』問題関係資料集」(同右)

岩本孝樹「へ年表」『一本化』への動き」(同右)  
望月廣三「その一視点」『親鸞の解放運動論』

(『ひょうご部落解放』一九号、6月)  
浄土真宗本願寺派同朋運動本部「法名調査と身元調査お断り運動」(『社会啓発情報』二五号、6月)

教学研究部編『靖国・同和問題研究資料一親鸞と被差別民衆』(同上、6月)  
仲田 真著『人間に光あれ』へ同和問題講演集1

(真宗大谷派宗務所出版部、1984年9月)  
同朋運動本部編『差別問題と業論』

(本願寺出版部、1984年12月)  
安積義尊編『人権尊重の原点』(中外日報社、1984年12月)  
大西正義著『人権問題と宗教者の使命』(曹洞宗ブックレット差別と人権6) (曹洞宗宗務庁、1985年1月)

(『解放教育』一九四号、6月)

北川鉄夫「へうの目たかの目3」海外進出をめぐる」(『部落』四五八号、6月)  
山路靖子「(動向)文化」『差別からの解放一胸張ってふるさとを』を見て」(同右)

丸林勝人「部落問題との出会い」戦争ごっここのなかで」(同右)  
中村幸夫・明定義人「当代駆け込み寺考」について考える」

(『みんなの図書館』九七号、6月)  
村崎修二「丸岡忠雄さん急逝」

(『月刊部落問題』一〇三号、6月)  
三國連太郎著『俳優X君への手紙』(明石書店、6月)  
塩見鮮一郎著『浅草弾左衛門 第一部』(批評社、6月)

川端俊英著『破戒』とその周辺一部落問題小説』(文理閣、1984年1月)  
福岡部落史研究会編『カンテラ 部落の語り伝え』

(同上、1984年3月)  
吉田啓文著『わが絶唱 ある青春の記録』

(同上、1984年10月)  
玉田勝郎著『優しさまとめて花いちもんめ 灰谷文学の正しいみ方』(風濤社、1984年10月)

鶴原識字学級運営委員会編『鶴原識字学級作品集』「つるはら」(1)「(泉佐野市教育委員会、1985年3月)  
樫井識字学級運営委員会編『かしのしきじぶんしゅう』

世界宗教者平和会議日本委員会編『第4回世界宗教者平和会議・決定事項 人間の尊厳と世界平和を求めて』

(同上、1985年3月)

門信徒会運動本部・同朋運動本部編『御同朋の社会をめざして第一集 人権擁護関係資料』(本願寺出版部、1985年3月)

【通史】  
松井久吉「暗黒の時代に生きて」

(『狭山差別裁判』一三六号、4月)  
青木孝寿「日本の民主主義と部落問題研究の課題——歴史研究」(『部落問題研究』八三号、4月)

藤谷俊雄「(連載)二〇世紀に生きる——あるインテリの自伝的歴史」(23)京大入學」(『部落』四五六号、4月)  
木村京太郎「(本棚)住井すゑ著八十歳の宣言——人間を生きたる」(同右)

奈良県部落解放研究所編『奈良県被差別部落史 史料集第一巻』(同上、4月)  
岩井常吉「語り手」・石岡隆允「聞き手」へインタビュ／この人に聞く(1)——福島地区(広島市)で聞いてつけて」

(『部落解放ひろしま』二二号、5月)  
藤谷俊雄「連載・二〇世紀に生きる——あるインテリの自伝的歴史」(24)迫る脅威」(『部落』四五七号、5月)

磯村英一著『磯村英一 私の昭和史』(中央法規出版、5月)  
岡 映著『荆冠記第3部 暗い谷間の時代』(労働旬報社、5月)

岡あきら著『解き放つとき 部落に生まれて』

(労働旬報社、5月)

直原弘道「兵庫県の解放運動と前田平一」(その1)

(『ひょうご部落解放』一九号、6月)

〔話し手〕中家秀造・岡本隆・浅田久平・南岡政吉・〔聞き手〕

田宮武「聞き書き」部落解放の人たち③(岡本繁次郎さん)

(『ひょうご部落解放』十九号、6月)

藤谷俊雄「連載・二〇世紀に生きる―あるインテリの自伝的歴史

〔25〕『天皇機関説』攻撃」(『部落』四五八号、6月)

岡 映著『荆冠記第一部 模索』(労働旬報社、6月)

三谷秀治著『火の鎖 和島為太郎伝』(草土文化、6月)

### 【近代】

川嶋将生「中世に生きる人びと―節季侯」

(『こへる』八八号、4月)

藤本清二郎「城下町和歌山におけるかわた・非人制―元禄・享

保期の到達点について―」

(『部落問題研究』八三号、4月)

高澤裕一「加賀藩における賤民支配」(同右)

吉村 亨「中世に生きる人びと―壁塗」

(『こへる』八九号、5月)

高市光男「部落の生活史① 頭への抵抗」

(『部落』四五七号、5月)

橋本朝生「中世の身分制と狂言」(『文学』五三巻五号、5月)

鹿子島達男「筑後の芸能集団『美麗』について」

(『部落解放史ふくおか』三八号、6月)

能見安男「福岡藩の嫌名と遠慮名について」(同右)

横井 清「中世に生きる人びと―連載の完結に寄せて」

(『こへる』九〇号、6月)

源城政好「近世に生きる人びと1―皮なめし」(同右)

内田九州男「部落の生活史」32号り高き人びと」

(『部落』四五八号、6月)

卜部 学「近世賤民集団の『場』の構造―弾左衛門支配地域にお

ける場境について」(『歴史評論』四二二号、6月)

菅原憲二「近世京都の町と捨子」(同右)

後藤正人「史料紹介」元津輕藩日記役の部落関係記録―内藤官

八郎「弘藩明治―統誌」から」

(『月刊部落問題』一〇三号、6月)

揖保川町教育委員会編「揖保川町の人権の歴史 江戸時代篇」

(同上、1984年8月)

山路興造「洛中洛外の神事猿蓑」

(『国学院雑誌』八五巻十一号、1984年11月)

芝 英一「近世田辺領における寺請制度と身分制度」

(『くちくまの』六一号、1985年2月)

川元祥一著『被差別部落の構造と形成』

(三一書房、1985年3月)

### 【近現代】

《特集》「反天皇制」(『狭山差別裁判』一三六号、4月)

矢野とおる「一九二二年三月二十五日―別府・的ヶ浜」

辻本正教「融和主義と天皇制―天皇制による洞部落強制移転

から」

竹末 勳「町村合併期の部落問題と『自由平権』主義」

(『部落問題研究』八三号、4月)

鈴木 良「天皇制確立期の部落問題―町村合併について―」

(同右)

藤野 豊「戦前の『差別規制法』構想―『差別言動取締法令』制

定運動の概略」(『こへる』八九号、5月)

(編集部)「部落解放史資料Ⅱ」山本正男著作集(二)

(『部落解放ひろしま』二二号、5月)

上原邦一「少年少女による解放運動(その1)―佐久少年少女水

平社と高橋修峰」(『信濃』三七巻五号、5月)

《特集》「福岡空港の変遷と部落問題Ⅲ」

(『部落解放史ふくおか』三八号、6月)

森山沾一「教育―席田飛行場の建設および変遷にともなう学校教

育上の諸問題」

首藤卓茂「席田飛行場と在日朝鮮・韓国人」

(資料)「席田飛行場・板付基地・福岡空港関係年表―一九四四

年二月二十五日～一九七九年八月三〇日―」

(資料)「〔付〕調査資料」

松永唯道「『福岡空港沿革調査』に参加して」

渡部 徹・藤野 豊編『近代部落史資料集成第7巻 米騒動と部

落問題1』(三一書房、6月)

原田伴彦・上杉 聰編『近代部落史資料集成第二巻 「解放令」

反対一揆』(三一書房、1985年3月)

牧 英正「壬申戸籍始末」(『同和問題研究』大阪府立大学同和

問題研究会紀要)八号、1985年3月)